



平成 29 年 3 月 24 日

各 位

会社名 株式会社朝日工業社
代表者名 代表取締役社長 高須 康有
(コード番号 1975 東証第一部)
問合せ先 取締役専務執行役員
総務本部長 池田 純一
(TEL 03-6891-1252)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社グループは、さらなる成長と企業価値の向上を目指し、創立100周年にあたる2025年、またその先も見据えて策定した長期ビジョン「ASAHI-VISION 100」に基づき、平成30年3月期を初年度とする3ヵ年の第16次中期経営計画（2017年4月～2020年3月）を策定いたしましたので、お知らせいたします。

当社グループは、これまで、第15次中期経営計画（2014年4月～2017年3月）で目指した「健全な企業文化、強靱かつ柔軟な企業体質の構築」と「安定的な成長」による「企業価値の向上」への取り組みを積極的に進めてまいりました。おかげさまで、第15次中期経営計画で定めた最終年度の計数目標は達成できる見通しとなりましたが、依然として受注における厳しい価格競争や、施工現場における労働力不足など取り組むべき課題は山積しております。このたび策定した第16次中期経営計画は、第15次中期経営計画における成果と課題を基に、「経営基盤の強化」と「働き方改革」に取り組む、当社の持続的成長とより一層の企業価値の向上を目指したものであります。

長期ビジョン「ASAHI-VISION 100」のファーストステージとして、ビジョン実現に向けた取り組みと、そのための基盤づくりを推進してまいります。

株主各位および関係者各位のご期待に沿えるよう、本中期経営計画の目標達成に総力をあげて取り組んでまいりますので、今後とも一層のご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

第16次中期経営計画の概要

1. 基本方針

- (1) **ステークホルダーの期待に応える企業集団を目指す**
コンプライアンスの徹底、コーポレートガバナンスの強化、地球環境の保全、社会貢献等の活動に従来にも増した取り組みを行い、CSR経営を推進する。
- (2) **「働き方改革」を推進し、魅力ある職場づくりに取り組む**
現場支援体制の強化と生産性の向上に取り組み、労働環境の改善を図る。また、ワークライフバランスへの取り組みを強化する。
- (3) **人材の確保と適正な人材配置を実施する**
積極的な新卒・中途採用活動を進めるとともに、定年再雇用者の活躍推進を図る。また、効果的で適材適所の人員配置を事業店の枠を越えて行う。
- (4) **戦略的な営業活動を推進する**
採算性重視を基本に置き、将来に繋がる優良顧客の獲得、ターゲットを絞った新規顧客の開拓に努める。また、大都市圏において受注基盤の拡充を図る。
- (5) **研究・開発力の強化を図る**
社会や顧客のニーズを的確に研究・開発に繋げる体制を整備するとともに、人員の増強や設備の整備・充実を図り、研究・開発の基盤を強化する。

2. 計数目標

本計画最終年度(平成32年3月期)の主要計数の目標値は以下のとおりとする。

連結受注高	862億円
連結売上高	893億円
連結営業利益	36億円
連結当期純利益	26億円

3. 資本政策の基本方針

当社グループは、グループ全体の持続的な成長と企業価値の向上を図るため、資本効率の追求と財務健全性の維持向上とのバランスを最適化することを資本政策の基本方針とする。

利益配分に関しては、株主への長期的利益還元を重要な経営課題の一つと考え、普通配当1株当たり年75円を安定的に継続するとともに、連結配当性向30%を目標とする。また、株主還元策の一環として、自己株式の取得についても、株価の動向や資本効率、キャッシュ・フロー等を考慮した上で、経営環境等を総合的に勘案し実施する。

内部留保については、今後予想される様々な経営環境の変化に対応し、さらなる発展と飛躍を目的として、事業分野の拡大や研究・開発力の強化、海外事業展開への投資等の原資に充て、柔軟かつ効果的に活用する。

4. 目標を達成するための主な施策

【事業拡充】

I. 設備工事事業

(1) 営業力の強化

- ・ 産業施設分野に対する提案営業力の強化とエンジニアリング営業の推進に取り組む。
- ・ 大都市圏での受注基盤の拡充に努める。
- ・ メンテナンス・リニューアル市場の拡大に、着実な対応を進める。

(2) 新たな事業・ビジネスへの展開

- ・ 省エネ関連、再生可能エネルギー分野の研究・開発を推進し、新たなビジネスの創出を図る。
- ・ ZEB(ゼロ・エネルギー・ビル)への対応を強化する。

II. 機器製造販売事業

(1) 新たな市場・顧客の開拓

- ・ 液晶・半導体の周辺市場や応用分野での顧客の開拓を進める。
- ・ 省エネを含む環境制御装置の開発と製造販売への取り組みを強化する。

III. 海外事業

(1) グローバルな事業展開

- ・ 既存海外子会社において、営業力の強化と人材の育成に努める。
- ・ 東南アジアを中心とした国・地域への新たな市場展開に取り組むとともに、国内のグローバル化に向けた社内の意識改革と教育を推進する。

【現場強化】

I. 設備工事事業

(1) 「現場」力の強化

- ・ 協力会社との関係強化を図り、安定的な施工体制を維持する。
- ・ ICT の活用を通して、施工や営業の現場における業務の効率化、生産性の向上に取り組む。
- ・ 施工に従事する工事部員に対する現場支援体制を整備・拡充し、作業の負荷軽減に取り組む。

(2) 価格競争力・収益力の強化

- ・ 採算性と施工体制を重視するとともに、将来も見据えた戦略的な受注活動を行う。
- ・ VE(バリュー・エンジニアリング)提案を強力に推進するとともに、社員の能力向上に取り組む。

II. 機器製造販売事業

(1) 生産性の向上

- ・ 生産性を更に向上させるため、適正な社員配置、作業最適化、低コスト設計などに取り組む。

【基盤整備】

I. 共通

(1) 研究・開発力の強化

- ・ 人員の増強や設備の整備・充実化など、研究・開発基盤の拡充を図る。
- ・ 顧客ニーズを踏まえた研究・技術開発を進め、営業ツールとしての活用、新製品の開発、新たなビジネスの創出につなげる。
- ・ 機器製造販売事業と技術研究所との連携強化を図り、製品開発力の強化に取り組む。

(2)人材の確保と活用

- ・ 人材の安定的な確保に向けて採用強化を図るとともに、中途採用等に積極的に取り組む。
- ・ 知識と経験を有する定年再雇用者の能力、健康面等に配慮した就労環境への配置を推進し、活躍と意欲の維持・向上を図る。
- ・ 必要な部門に適切な人材を効果的に配置するため、全社的規模での柔軟な異動を活発に行う。

《ご参考》

長期ビジョン「ASAHI-VISION 100」について

1. 当社グループが目指す10年後の姿(ビジョン)

『さまざまな可能性に挑戦する「オンリーワン・カンパニー」』

- 当社グループは、さまざまなチャンスや問題に果敢に取り組み、価値ある挑戦を続けて、あらゆる人にとって、さらに魅力ある企業集団となることを目指します。
- 当社グループは、将来を見据えた積極的な経営と社会やお客様のニーズを的確に捉えた独自の技術・サービスで、他社とは何か違う、他社より一歩先を行く、『オンリーワン』の企業集団を目指します。

2. 長期ビジョン実現への取り組み

長期ビジョンを実現するために、次のような取り組みを進めていきます。

【事業拡充】

- ① 産業施設分野への積極的な取り組み
- ② 環境関連ビジネスへの展開
- ③ メンテナンス、リニューアル工事の拡大
- ④ グローバル化の推進
- ⑤ 新たな事業・ビジネスの確立

【現場強化】

- ① 現場力の強化
- ② ICT(情報通信技術)の活用
- ③ 価格競争力・収益力の強化

【基盤整備】

- ① 研究・開発力の強化
- ② 人材の確保と活用
- ③ 社員の能力開発とやる気づくり
- ④ CSR(企業の社会的責任)経営の推進

以 上